大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

夕刊 新京日日新聞

昭和八年四月八日 七日發行 新京日日新聞 （土曜日） 第三千六百九十一號 （一）

定價 一部 金三錢 一ヶ月 金八十錢
郵税 一ヶ月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 二三〇〇・三三五二番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

滿洲國政府の 二月分輸出入貿易

日本品が斷然頭角をぬく

—滿洲國財政部發表—

大同二年二月分全滿貿易統計は六日財政部より公表された輸入總額四千六百二十萬二千百十四圓、輸入三千六百九十四萬六千九百二十四圓で九百二十五萬五千百八十九圓の輸出超過をして居るが、一月に比較し、輸出百二十五萬九千五百三十七圓、輸入三百二十萬七千七百三十一圓の減少を見せて居る、貿易主要國は對日本四千三百八萬一千五百四十三圓を第一位に中華民國七百五十七萬圓、ドイツ七百十一萬圓、朝鮮四百二十六萬圓、米國三百八十八萬圓、ソ聯二百七十萬圓の順位となり對日本貿易は輸出に於て七百萬圓を減じ輸入に於て八百七十八萬圓を増加、日本商品の躍進的滿洲進出の跡を示してゐる

△輸出入貿易總額表（二月分）＝單位滿洲國幣圓（括弧內は海關兩）

	價額	一月以降累計
△輸出		
輸出品（內國品）	四四,一二六,一三四（三六,九二〇,五九二）	九〇,八七五,一一四（五八,三三一,三〇四）
再輸出品（外國品）	一,〇八三,九七〇（六九三,一四八）	二,一〇三,七一〇（一,四三五,八九八）
計	四五,二〇三,一一四（三九,六二六,七四〇）	九二,九七七,八二五（七九,六〇一,二〇三）
△輸入		
輸入品（外國品）	三六,九四六,九一四（二二,六八五,八二六）	七六,九二一,五三三（四九,三〇八,六六八）
再輸入品（內國品）	[illegible]	[illegible]
計	三八,九一六,九二四（二一三,六八二,九二一）	七六,九二一,五三三（四九,三〇八,六六八）
輸出入合計	八三,一四九（二三,三〇〇,六六六）	一六九,八九九,四一八（一〇八,九七九,八九〇）
輸出超過	九,二五五,一八九（五,九四二,八一四）	一六,〇五六,三二二（一〇,三九二,五一四）

△輸出入貿易主要國別表（二月分）＝單位千圓＝

	輸出	輸入	計	一月以降累計
日本	三〇,三三一	一三,七四九	四三,〇八一	八五,六八四
朝鮮	二,四〇七	一,八六八	四,二六五	九,九三五
中華民國	二,七五四	四,八二六	七,五七六	一八,三三二
露西亞	二,三六六	三三五	二,七〇一	四,三三四
獨逸	六八三	[illegible]	七,一一三	一七,〇三三

△備考 再輸出及び再輸入を含みます

△主要輸出品表（二月分）＝單位千圓＝千擔

品目	數量	價格	一月以降數量累計	一月以降價格累計
大豆	四,六〇六	一九,九六八	八,九六八	三九,九三三
其他豆	一四一	八六二	三三〇	二,三三九
粟	一二一	五二一	三一九	一,〇九〇
高粱	一八〇	二三六	四九一	二,六六二
鹽	二六五	[illegible]	四一〇	三,〇二七
豆油	一九二	二,〇七八	三二六	三,三二八
硫酸アンモニア	一〇九	[illegible]	一六〇	四〇八
柞蠶絲	一一〇	四二三	三九二	一,六三二
石炭	三六九千噸	三,九九一	七一五千噸	七,八七三
銑鐵	一,三二五	一,六四二	二,一八四	三,二五七
豆粕	二,〇八二	七,〇八四	四,三三二	一四,七七九

△主要輸入品表（二月分）＝單位千圓、千擔＝

品目	數量	價格	一月以降數量累計	一月以降價格累計
小麥粉	五九七	四,六三九	七,三三四	一〇,九〇六
砂糖	一一九	一,一〇五	三三四	二,四七四
燈油	一,四二六千米	一,一三三	一,九九九千米	一,二五八
揮發油	一,〇四八千米	八三六	一,四四三千米	一,一三九

△南滿三港出入船國籍別表（二月分）＝單位千噸＝

國籍	入港 隻數	入港 登簿噸數	出港 隻數	出港 登簿噸數	一月以降入港累計 隻數	一月以降入港累計 登簿噸數	一月以降出港累計 隻數	一月以降出港累計 登簿噸數
滿洲國	一	一	一	一	三	二	三	二
關東州	八五	二三	八四	二三	一七〇	三四	一七一	三八
日本	一二六	三〇六	一四〇	二八〇	二六〇	五六二	二五七	五五一
中國	一四三	八一	九二	七八	二二三	一七六	一八六	一六五
英吉利	二三	六三	二〇	六〇	五〇	一四九	五一	一五七

林滿鐵總裁 陛下に拜謁

〔東京六日發國通〕林滿鐵總裁は六日午前宮中に參內、陛下に拜謁後午前十時半首相を同十一時に拓相を夫々訪問、歸任の挨拶旁々種々打合せを爲した

林滿鐵總裁 歸任を十一日に變更す

〔東京六日發國通〕林滿鐵總裁は九日發歸任の豫定を十一日午後一時發に變更した

外船輸出問題 本日の閣議で解決

〔東京六日發國通〕外船輸入問題をめぐる遞信、拓務兩省の紛爭は六日堀切翰長、黑崎法制局長官、遞信、拓務兩次官首相官邸に居殘り最後的協議した程果、大體意見一致し七日の閣議に遞信側覺書を上程閣議決定事項とし效力を判然たらしめることゝなつた、覺書要旨は目下廻航中の誓約船の輸入を認め、引合せ中の十二隻の輸入は中止することとなる模樣である

米國の金輸緩和 日米爲替に大影響なし

〔東京六日發國通〕アメリカでは總括的金輸出禁止を一部緩和して特許制に改める旨發表したが、銀行方面の意見を綜合するに金輸出禁止の緩和は弗價昂騰の理由とならないから我爲替は之によつて低落しないと見られ對米爲替上には大した影響はあるまいとされてゐる

春耕貸欵 視察員派遣

民政部では奉天、吉林、黑龍江三省の農耕民の利益の爲め貸與した春耕資金が眞に耕馬購る農民の福利增進に資し得るやう春耕資金を農民に配分する者耕欵貸付を有効に指導するため、三省各縣城所在地に觀察員を派遣することに決定、同觀察員は十日各地に出張、貸與、耕作回收の各期間を通じて公正なる行政指導の重任に當ることゝなつた

熱河省事情（六）

阿片栽培

熱河省に於ける阿片栽培は官憲の栽培獎勵さ、他種作物より比較的收入が多いといふ理由により、作付反別は年々增加しつゝある。全省禁煙善後管理局（阿片徵税局のこと）の發表するところによれば、民國十九年九月で全面積五千二百頃と云ふ然し乍ら支那の國情から推察すれば實際面積は右數字より大割方多く約八千頃程度とするを適當とす。熱河省全二十四縣の中最も栽培面積の多いのは平泉縣一千二百頃、次で凌源縣八百頃、朝陽縣七百頃、赤峰縣五百頃である。

阿片栽培の利得

收穫量は豐凶により一定しないが、平均一畝地純煙土三斤の收穫があり、全省を通じ少くとも約二百四十萬斤に達するであらう。

今試みに農家の阿片栽培による收支計算を與ぐれば

支出 肥料三元、阿片税十元日傭人夫十五元、地租八角 合計大洋二十八元八角

收入 煙土五十兩六十元

差引利益 大洋三十一元二角

尚ほ阿片採取後は白菜、又は大根、煙草の栽培をなし、十元內外の利益を舉げ得るので結局一畝地一年の收入合計四十餘元の利益があれ、普通作物に比べると格段の利益がある

阿片の取引

A買付 買付方法に請負さ現金買の二種がある。請負買付は主として大口買付であつて、官商が之を行ひ、現金買付は各地方に人を派し、阿片の買付を行ふか、買主が賣込みに赴くかの二途である。其の他阿片の青田貸があるが頗る高利で年十割であると云ふ

B買付人 赤峰での大口買付は興業銀行の六十萬元、赤峰縣知事の十三萬元、復興公司の三十萬元等の富商筋であつて何れも管理局の命令に依ると稱してゐるが信ずるに足らない。其の他は赤峰商人、奉天・天津方面の商人及地方煙館がおもなるものである。

阿片運送方法

阿片の運送先は奉天方面が最も多く天津・北平之に次ぐ

A奉天方面

運送すべき阿片は之を管理局經營の運輸經理處（阿片責任運送所）に寄託するのが最も安全である。

奉天方面への輸送には北票で阿片一兩に付大洋二角の出境税並に左記の運輸保險費を納入すれば些の危險もなく管理局の手に依り、奉天乃至全滿に輸送して呉れ更にそれから他の連絡によつて、大連・吉林及安東方面へ密輸せられるものである。運賃は赤峰・錦州間一兩に付現大洋一角、錦州・奉天間一角、奉天・大連間一角半奉天・吉林間二角、奉天・安東間一角半、經理處寄託のるのは概ね大口で、小口物は依然駄子により輸送せられつゝある。

B京津方面

京津方面への輸送は車馬問屋に寄託して、問屋は荷物の中に隱蔽して輸送する。主として古北口、喜峰口を經由して關內に出す、京津方面への輸送は奉天方面と異なり一定の連絡が無い爲め、その都度取締官憲と連絡をなすものである。主としてその衝に當るものは問屋の主人である。運賃は赤峯・北平間一兩に付き現大洋四角、赤峰・天津間三角。

阿片税金

阿片税金を禁煙罰金と云ふ阿片栽培許可の最大目的は此の徵収方法に付ては詳細な重な規定があり、徵收機關たる禁煙局は全然省財政廳より獨立し湯玉麟主席の長子佐榮自ら是が督辨となり各縣知事を分局長とし直接徵税の任に當らしめてゐる。

所謂禁煙罰金は一畝に付正税現大洋九元二角、建設廳附加税八角都合大洋十元である罰金は栽培面積により徵收せらるゝので作物の豐凶如何に拘らず管理局としては確な豫定收入である

罰金は一畝十元一頃千元なので管理局の查定した栽培面積五千三百二十頃に付て計算すれば少くとも五百萬元の收入である。今阿片税の熱河省財政上に占める地位を考察すれば普通年度に於ける熱河省全收入豫算は約六百萬元であつて實際收入年五百萬元に過ぎず約百萬元の不足を生ずる其の中阿片栽培税は約半分以上を占め、民國十九年度の如きは恐らく全收入の二三倍に達した見込であると云ふ

怪人凱歌

（舞臺上演 映畫化）須藤鐘一（畫）瀧秋方

（百八十七）

腑甲（十二）

背後に一つ、綠カヴァーをかけた終夜電燈がともつてゐるきりなので、室內は一たいに朦朧として暗い。

そこで、覆面の男の姿は、たゞ一個の奇怪な黑影のやうにも見えるのだつた。

「夏木さん！ あなたは、あなたは迷ひましたね」

鞠子の眼にはそれが十五年前に死んだ夏木恒夫の亡靈に見えたのである。彼女はふるへる聲を勵まして斷らいつた。

「あゝ迷つたよ。あんなひどい目にあはされて、どうして迷はずにゐられるものか」

黑影は彼女の言葉にペッテを合せた。

「わたしが惡うございました。之れからはどのやうにも、あなたのおつしやる通りにいたしますから、どうぞ迷はずに成佛して下さいまし、なむあみだぶつ、なむあみだぶつ……」

鞠子の聲は泣くがやう。

「口先ばかりでは駄だ！」

「何で口先ばかりなものですか。きつと〳〵あなたのお心の鎭まるやうに、之れからはすべてあなたのおつしやるやうに致しますから迷はずに、迷はずに……」

と、鞠子は手をあはせて拜みながら、囁き口說くやうに云ふのであつた。

「それおや、きつと僕の云ふ事を實行してくれるのですね？」

黑影は念を押した。

「誓つて實行いたします」

「先づ第一には、二人の子供であるが、その居所を僕が知らせてあげますから、すぐに迎へ取つて心から可愛がつて育てねばなりませんよ」

黑影は命ずるやうに云つた。

「それはもう、さつきも申しましたやうに、決しておろそかには致しません」

と、涙をポタ〳〵とおとしながら彼女は誓ふのだつた。

「よし、第二は、天野のやうな惡人を一さい遠ざけねばならぬといふ事。あなたさへしつかりしてゐれば、彼奴も決してつけ上りはしないのですよ」

「とうから手を切りたいと思つてゐるのですが、先方でどうしても離れてくれないので、實は困つてゐるところでございます」

「あなたがケチだからいけないのです。すこしまとまつた金をやつて緣を切れば切れないはずはないのです。もし、それでも何かと因緣をつけて付きまとふやうなら、又僕がよい策をめぐらしてあげます」

「ありがたうございます。どうぞよろしくおたのみいたします」

「第三には、山路伯爵の遺子のことですが、若し其の遺子が現はれたならば、快よく家に迎へ取つて伯爵の遺言通り、遺産の半分を其の遺子に讓るといふ覺悟をして下さい」

「承知いたしました」

鞠子はキッパリと誓つた。

「此の事に就いて、あなたが慾に眼がくらみ、天野のやうな惡黨をそゝのかして恐ろしい惡計みをめぐらしてゐられることも、僕はちやんと知つてゐますぞ！」

「恐れ入りました。面目ありません」

と、鞠子は頭をうなだれる。

「あなたは、さつき何と云はれた？ いろんな惡事をしたのは、つまり自分が氣の弱すぎるためだとかおつしやつたが、果たしてそれはほんとうでせうか？ 伯爵の遺子の問題に就して、あなたが之れまで取つて來た態度は、ありや氣の弱い人の態度と云へるでせうか？」

黑影の言葉は匕首のやうに相手の心臟を抉るのであつた。

「みんなわたしの心得ちがひでした。何とも申しあげるお言葉もございません」

「よし、それでは之れからスッパリと心を入れかへて、自分の子供にも增して伯爵の遺子を大切にもり立てゝ行くことを誓ひますね」

「誓ひます。ですが、御前の忘れ形見が、ほんとうに此の世にゐるのでせうか？」

と、鞠子はまだ半信半疑である。

内閣瓦解の第一歩
小山法相遂に辭任
政府は極力慰撫せんとするも
法相既に背水の陣

（東京發國通至急報）小山法相は本七日午前九時三十分定例閣議に先ち首相官邸に至り、齋藤首相と會見、正式に辭意を表明した

（東京發國通至急報）小山法相は本日午前九時三十分正式に辭表を齋藤首相に提出十分にして辭去した、齋藤首相はこの旨山本内相、高橋藏相に傳へたが、十時よりの閣議で極力慰撫留任を勸告することになつた（寫眞は小山法相）

小山法相　宮中參内

（東京發國通至急報）小山法相は辭表提出後午前九時五十分宮中に參内し鈴木侍從長に辭表提出の旨を報告し退出した、こは政府の慰留あるを豫想し背水の陣を布いたものと解さる（以上號外再錄）

その儀に及ばずとし　留任に決定す

（東京發國通至急報）小山法相は辭表を提出したが陛下は其儀に及ばずとせられ法相は留任に決した

齋藤首相支持
全閣僚一致の意見
永井拓相語る

（東京六日發國通）永井拓相は六日夜左の如く語つた
齋藤首相を支持して現狀を維持して行かうといふことは恐らく全閣僚の一致せる意見だと思ふ、藏相が止めるにしても相當理由があるからだらう、直ちに内閣總辭職を想像するが如き事は輕卒極まる、或は藏相の單獨辭職で必ずしも總辭職とは考へない、首相が機會ある毎に大いにやると云ふのは肚の底から出る氣持と見て差支へないと思ふ、首相は決死の覺悟でこの非常時局を收拾せんとして居るとしか考へない

憂色の齋藤首相

重光公使　齋藤首相を訪問

（東京六日發國通）宮中を退下した重光公使は六日午前十一時十五分首相官邸に首相を訪問上京の挨拶を述べた後種々雜談を交し同四十分辭去、更に海軍省の海相を訪問挨拶の後一旦正午外相官邸に催された外相主催の歡迎午餐會に臨み外相より感謝に滿ちた歡迎慰勞の辭をのべ之に對し重光公使の挨拶があつて午後零時半散會した

齋藤首相　重光公使を招宴

（東京六日發國通）齋藤首相は七日正午今回上京した重光公使を官邸に招待各閣僚列席歡迎午餐會を開くことゝなつた

重光公使　歡迎午餐會

（東京六日發國通）重光公使は本六日午前十一時齋藤總理を訪問して上京の挨拶を爲し次いで陸海兩相を訪問同樣挨拶の後正午外相官邸の歡迎午餐會に出席した、内田外相、有田次官其他各局部長、海軍から藤田次官高橋次長、陸軍から柳川次官、眞崎次長等出席し盛んであつた

米國の金輸解禁につき
高橋藏相語る

（東京六日發國通）金輸禁止緩和に關する大統領令に就て藏相は六日左の如く語つた
大統領令の内容を觀るに幾分金輸禁止を緩和したと云へば云へるが金本位に復歸した譯ではない、寧ろ、アメリカとしては政府に金融統制權を集中して各種の救濟や經濟建直しの爲通貨の流通を圓滑ならしめんとしたからで金の生産と工費は非常に擴大して居るに反して通貨本位である金は增へて居ない許りか總體的には非常に減つて居るので國際的な物價下落は硬貨に原因するのだから緩和策として は各國共金の保有量から離れた通貨制度を採用しなければならぬ破目になつた無論日本も同樣な立場から現在のやうな立場に置かれて居る、アメリカとしても過般の金融恐慌を契機として新に合理的な通貨制度を樹てるやうに夫だけの通貨を膨脹させやうと云ふに在る 今日金本位制の維持は利益より寧ろ經濟的な至害になつて居る、從つてアメリカとしても世界經濟會議に此問題が何等かの效果を見ない以前に金本位制に復歸するやうなことはあり得ないと思はれる

思想問題對策協議會
内閣に新設と決定

（東京六日發國通）思想取締り、善導に關し貴衆兩院より嚴重なる決議案を提出された齋藤内閣は之が對策を本日正午より協議した結果、内閣に思想問題對策協議會を設置することに決定、右協議會は官制に依らず内閣から堀切翰長、黑崎長官、内務、文部、司法の各省事務官關係局課長が委員となり協議會を開き連絡は緊密にすることゝなつた

親滿義勇軍活躍
海陽鎭、秦皇島に壓迫

（山海關六日發國通）親滿義勇軍は昨夜十一時より今朝未明にかけて行はれた戰鬪の結果、目覺しい進出振りを示し東は沙河線より、中央は大旺庄西は平山營を貫く線を扼し前面に約一千名の敵と對峙し海陽鎭、秦皇島を壓迫するに至つた、支那軍は非常に動搖の色を見せて居るが、日本軍が〇〇より一歩も出でざるを知つて逆襲の準備を進め部隊を增加しつつある

親滿義勇軍
海陽鎭に堂々入城

（山海關六日發國通）石門寨方面より進擊中の親滿義勇軍丁强軍は六日午前七時秦皇島西方約十粁の海陽鎭を占據堂々入城して滿洲國旗を翻へした
（山海關六日發國通）〇〇機の偵察によれば海陽鎭を占據せる支那軍は後方よりの增援部隊の協力を得て海陽鎭奪回を試み、絕へず逆襲を爲しつつあつたが士氣益々昂れる親滿義勇軍のため逆襲擊破され、その一部は早くも撫寧方面に後退を開始した

蔣介石の密命により
藍衣社員潛入

河北大學醫學部教授王長恩の指導する藍衣社社員卅名は、蔣介石の密命により反對政策の準備として調査のため三班に分れ三月末日、密かに天津を出發、滿洲國内に潛入、第一班は二名づゝ三組となり熱河に入り、日本軍の配備狀況等を調査し、第二班は奉天に入り、日滿要人並びに外國人の動靜、第三班は新京に入り聯盟脫退後の日本の滿洲國に對する政策等に關し夫々極秘裡に調査を開始せる形跡あり、これがため日滿警察當局は嚴重搜査警戒中である

國都中心地區拂下げ
五月から實行

「我等の新國都」を目的とする新國都計畫區域内にある土地は新京の首都決定國都計畫の進捗と共に、忽ち土地利權屋の好餌となり、地價騰貴の豫想から猛烈な拂下運動が起つて來たが、之れにより生ずる諸種の弊害防止のため當局は之を禁止して居たが、愈々拂下準備も完成したので五月から拂下を實施する事となつた、拂下げられる豫定區域は大新京の中心地たる可き土地であつて、將來計畫が完成の曉には、素晴らしき土地となるので、今回の拂下價格は破格とも見られて居るが、之が拂下げにより生ずる財源は悉く建設工事施設に投ぜられるのであくまで、我等の新國都は我等の手で完成しやうと言ふのである

昭和製鋼所
愈々近く認可
調査會を本日開會し

（東京六日發國通）拓務省では昭和製鋼所案も大体大藏省の諒解を得たので、認可指令を近く發する筈で、明七日右調査會を拓相官邸に開く事になつた

滿鐵增資に伴ふ
拓務省の事業計畫案

（東京六日發國通）永井拓相は午前九時荒木陸相を訪問して滿鐵の增資に伴ふ事業計畫内容に關し拓務省の方針を報告
一、國防的見地に基く事業
一、滿洲國の產業開發に關する諸事業は產業會社に委ねること
一、將來滿洲の經濟的資源に關しては日滿提携し研究する
と述べた荒木陸相は軍部としても調査して居り方針決定次第、拓務省と協議する旨回答した

赤匪跳梁は
蔣の罪
某廣東派要人談

（天津六日發國通）蔣介石が北上を中止し突如南昌に赴いたに就き當地にある某廣東系要人は語る
蔣は剿匪總司令に就任し責任を以つて赤匪を淸掃すると幾度か聲明を發して少からず 祭を費やしながらその責を果さざるのみならず張學良沒落とみるや任を捨てて北上し專ら自己の地盤擴張に努力して居る、赤匪は其の隙に乘じて蹶起した、南昌一帶狹少と雖も我國の中樞地で東三省や熱河の如き遠隔と同日に論ず可きでない、然らば蔣介石は張學良、湯玉麟と同じく失地の罪を以つて糾彈すべきではない

丁士源氏
各要路に報告

溥儀執政個人の代表として六ケ月に亘り歐州各國を歷訪、聯盟會議開催中はジュネーヴに在つて專ら各國代表との往來によつて對滿洲國認識是正に努力した丁士源氏は五日歸京したが六日午前執政府に執政を訪ひ歸京の挨拶を兼ね、諸般の報告をなし次いで午後は鄭國務總理謝外交總長其他要路を歷訪歸京の挨拶をなす處あつた

英、米、佛三首腦者
不況打開策を圖る

（ワシントン五日發國通）發にロンドンを訪問して英國政府當局と懇談を遂げ目下巴里に在つて佛國政府當局と會談中の米國軍縮主席全權デヴィス氏は世界的經濟不況打開問題に關し英、佛首腦者とルーズヴェルト大統領とが會談す可きやう諸般の準備手配を整へつつあり、近く英、佛兩國政府首腦者はワシントンに來りルーズヴェルト大統領と膝を交へて懇談を遂げることゝなつて居る、而してこの會商は英、米、佛三國首腦者間に限られるものと觀られ且右は近くロンドンに開かるべき世界經濟會議成功の基礎を築くものとして頗る重要視されてゐる

新京驛建築木材山積
一時輸送中止さる
見よ新京建築界の活況を

愈々建設期に入り、新京は到る所建築の躍進的氣運に漲つてゐる折柄土木建築の諸材料は今や新京驛に

＝殺到＝しつゝある就中吉長沿線より發送せらるゝ木材は既に木材線構内に充滿し滯貨三百車約六千瓩に達し荷卸しは勿論荷馬車の通行すら困難となり、國都建設の進捗上非常な不便を來すに至つたので、新京驛貨物事務所では種々考慮の結果遂に發送驛に對し現在の滯貨一掃の見込みつくまで一時輸送中止方を依賴すると共に、着荷荷主に對し來る八日までに搬出引取り方を、尙今後到着の分は荷卸しの日共二日間以内に搬出するやう折柄應急的に双城保管門より輸木材保管部では馬車拂底の交涉依賴した、よつて國際運約百輛の馬車を徵集して目下一日平均六百瓩餘の搬出を爲してゐるがこれが爲驛貨物構内はまるで戰場のやうな活況を呈してゐる、因に右輸送停止により吉長沿線の木材輸送荷主は

＝目下＝非常に困つてゐる模樣である、新京國都建設工事戰線上最初の一大異常として土建界の注意を喚起してゐる

新京驛構内に
建築材料置場新設
萬般の設備を期して

既報の通り愈々本年度國都建設事業の開始と共に建築諸材料の新京驛着荷は日增に殺到增加しつつあるが、三月中に着荷せた諸材料は左の如くである

品目	數量
セメント	九〇〇〇 キロトン
煉瓦	二四〇〇〇〇個
鐵材類	七八〇・八瓩
木材	（別項に載り概ね省略す）
石材類	一二〇・八
バラス砂類	六九六七・五
石灰	三二〇・〇

右諸材料は從來驛構内に荷卸されつつあるが本年度に

＝荷着＝すべき材料は本年度に約五十萬屯乃至五十五萬屯、約三十萬屯と豫想され、これが爲新京驛では既に其材料置場として現在機關區側急行砲轉線と飛行場に至る假設道路面の空地（長さ四五〇米、幅七〇米）を利用して施設準備に着手、危險なる石炭倉庫等諸般の設備工事中で今月中には完成する模樣であり搬出道路は飛行場道路を使用することゝなつてゐるので、右は國都建設地域と近接し極めて利便であり其完成は建設事業の促進上非常に刮目期待されてゐる、尙右材料中大屯より輸送されてゐるバラスは七日より一日二十車づゝすることゝなつて居り此月末頃になると一日三十車位に增加するものと見られてゐる

コール協定率
十日より實施に決定

（東京六日發國通）コール協定率は愈々東西共に一厘引下げの八厘と決定したが右實施期につき五日東京大阪合議の結果、來る十日よりと決定された

天草丸
指名航路に就く

（敦賀六日發國通）日滿露三國を結ぶ三角航路に就航する歐亞聯絡船天草丸は六日午後三時敦賀出帆最初の指名航路に就いた

治外法權撤廢迄の不正官吏處分辨法
臨時法設定說漸次有力となる
樂土建設聖業成就へ

滿洲國の基礎は日と共に强化、着々樂土建設の實を擧げつつあるが、同政府では更に綱紀を振肅、王道政治の範を中外に垂るべく收賄其他苟くも建國の大業に阻害を來す行爲ある滿洲國官吏に對しては、滿洲國人官吏たると日系官吏たるとを問はず寸毫も假借せずとの固い決意を以て綱紀肅正に努めつつあるが、現在日系官吏は治外法權下にあり、たとへ收賄等の事實あるも滿洲國としては之を處罰するを得ず、之が處罰を日本側當局に俟つも日本側當局としては本人に退去命令を發するの外之が處罰の方法なき狀態にあるので樂土建設の聖業成就の爲め、萬一日系官吏にして不正行爲ありたるやうな場合は斷乎たる處置を執り得るやう、治外法權撤廢までの臨時辨法を設くべしとの意向が滿洲國政府並に日本當局の間に有力となつて來た、近く何等かの形式に於て臨時辨法が設けられるものとみられる

三千萬民衆の利益を目標に
地方自治制根本改革案成る
中央集權主義へ

民政部では大同元年度地方行政の實際的經驗に徵し、

『舊來』の傳統たる地方自治制度に徹底的改造を加ふべき必要を痛感するに至り行政的改造を斷行するの斷乎たる決意を固めるに至つた。卽ち大同元年度は成る可く波瀾を避け固き地盤を有つ自治制度を破懷せざるを施政方針として來たが、之に依つて依然として利益を貪るのは、所謂土豪劣紳にして、滿洲國の赤子とする三千萬大衆の利益は自治制度に巢食ふ土豪劣紳に阻まれて暢達せざる弊は避け難いのである。

例へば滿洲國が王道主義に基いて減稅、免稅を斷行した時之に反對を稱へたのも滯納稅徵收に利益を吸はんとする地方の土豪劣紳であつた、滿洲國の愛するは三千萬の大衆でこれ等不當な利益で大衆を犧牲にしてせしめんとする所謂小數惡劣の有力者では斷じてないここに於て支那式自治制度を徹底的に改造して縣市の地方團体に法治的自治制度を

『確立』し中央集權の實を擧げ財政的獨立は依然保持するも行政的には斷乎中央の統制下に、公明にして力强き行政を三千萬民衆の名に於て實行せんとするもので其の大綱草案は既に法制局に廻付され、如何なる反對に抗しても之を貫徹することこそ、王道政治實現の不可決の條件なりとしてゐる

城內の憲兵分遣隊
分隊に昇格す
隊長は山村大尉新任

新京憲兵隊城內分遣隊は今度分隊に昇格分隊長として、武藤司令官暗殺陰謀犯人を一擧未然に檢擧敏腕を讃えられた新京憲兵隊特高課長山村義雄大尉が就任するに決した

井上圖書館主事 十日朝出發

滿鐵新京圖書館主事井上正義氏は開原圖書館主事を命ぜられ來る十日午前九時發列車で赴任に決定七日暇乞に各所歷訪した

中東東部線 時間改正

中東鐵路東部線は、匪賊橫行の爲四月一日より臨時旅客列車の夜間運轉を中止し同時に橫道河子綏芬河間の列車運轉時刻改正されたる結果今後ウラジオ行旅客は橫道河子及綏芬河の兩地點に各一泊せねばならぬ事となつた、改正時刻は次の通りである

▲四列車(日、月、水、木、金、ハルビン發)
ハルビン發八時二十分
橫道河子着十七時二十分
同　發(翌)六時
綏芬河着十五時三十五分
同　發(翌)九時
ウラジオ着十七時三十一分

▲三列車(日、火、水、金、土、綏芬河發)
ウラジオ發四時五分
綏芬河着十三時十五分
同　發(翌)八時三十五分
橫道河子着十八時三十分
同　發(翌)六時廿三分
ハルビン着十四時二十分

滿洲の消費文化はまだく幼稚
―高島屋大屋氏談―

今やひたむきに國都建設を目指して、恰も曠原をつき切る急行列車のスピードを以つて集大成されやうとしてゐる

『新京』は、僅か二年前まで特產集散の地方都市に過ぎなかつたものであるため、この急激な膨脹擴充は少からず文化都市として變態な形態をあちこちに露出してゐる現狀である。新京は近代都市としての消費局面はどの程度であるか近代商業界の寵兒デパートに視角を置いて觀察して見ようと、左に揭ぐるは日本內地百貨店の尖端を切つて新京に進出してゐる高島屋出張所大屋四郎氏の談である

現在乃至今後四五年間はデパートが本格的に當地に投資して開店することは六ケ敷しいそれに應ずる程の購買力がないからだ、差當りデパートを

『經營』するとすれば規模を小さくして十圓程度の店を開けば利潤が見られるだらう、日本のデパートでは、米國に倣つてテンセンストア、トウエンティストアなど均一店經營をやつて、成績を擧げてゐる高島屋テンセンストアの半期賣上報告を見ると賣上が六十萬圓小さく見積つて五分の純利があるから大きなものだそれなら新京にデパートを經營して、テンセンストアをやつたらどうかと云ふに新京では斯る方法は恐らく成功すまい何故といふと滿洲の消費文化は未だ未だ幼稚なものだから米國や日本の如き爛熟し切つた資本主義社會で成功しつつある商業經營をその儘もつて來ても駄目だ、と語つて氏は、新京商業界の若さと洋々たる前途を物語つた

『三越』その他日本一流デパートの進出はないだらうかとの問ひに對しては恐らく巡回サーヴィス以上のことはやるまいと觀測してゐる、尙ほ高島屋出張所は現在關東軍並びに滿洲國政府の被服材料の調達に相當地盤を築いてゐるやうだ

滿洲國々花
高粱と決定す

建國當初よりの懸案であつた滿洲國國花選定に關しては昨年九月十五日第四十五次國務院會議で話題になつたのみで其後其儘になつて居たが本年になつて二月二十日第七次國務院會議に王軍政部次長より改めて提案があつたので同二十七日の院議に於て審議「高粱」と決定を見た、滿洲と云へば高粱を想ひ、高粱と云へば滿洲を連想すると云ふ程滿洲を代表して居るものなので茲に選定を見た譯である、滿洲國は元來農業を主体とする國であり、殊に建國の建國紀念章にも實れる高粱が圖案化されゐるたのも大いに首肯出來る

秘密境熱河へ
專門調査隊出發す
成果は各方面で待望

暴虐あくなき湯玉麟軍閥の搾取の手から

『免れ』ホツト一息ついた熱河四百萬住民は我駐屯軍の絕大な援助の下に政治經濟各般の建設工作にいそしんで居るが同省が包藏する地下埋藏物は金、鐵、アルミニユーム、石炭石油等凡ゆる鑛物を網羅し、之が開發は疲弊せる住民にとり、旱天の慈雨以上の恩澤で一日も早く實現されたしと代表者を送つて當局に、懇請して來るので、滿洲國は之が調査方法に關し研究中であつたが此程具体的な成案を得たので愈々實行に着手するに決し專門家から成る地質並に產業調査班を組織し、之を二隊に分ち五日奉天を出發した、各調査班は月余に亘り省內に隈なく踏破、地下埋藏物、產業狀態の諸調査をする事になつて居るが、

『從來』熱河が秘密境とされ專門家の手で調査されなかつただけ、各方面からその成果が待望されて居る

馬車夫を屠め
金を捲き擧げんとする邦人
逃走中を逮捕さる

滋賀縣生れ入舟町四ノ一目二十九番地無職門脇竹治郎(二七)が七日午前一時三十五分ごろ城內東三馬路から呼合せた馬車夫石正爛の馬車に乘り新京驛前で下車し一圓札を手渡した處車夫は釣錢奉天票、國幣を取混ぜ支拂はんとするや門脇は邦語「此の樣な支那票は不要、金票を出せ」と言ふや突然車夫の所持金、奉天票一圓一枚、國幣五十錢一枚、吉林大洋五分二枚を强奪逃走した、車夫は犯人を追跡すると、懷から海軍ナイフを取出し、脅迫の上敷島町から西方に向け逃走した屆出により新京署員が追跡逮捕した

南部法電師 十日朝歸國

新京祝町西本願寺主任南部法電師は內地歸還を命ぜられ八日午前九時發列車で出發するに決定

新鐵道事務所異動

新京鐵道事務所管內人事異動は四月一日附六日の社報で次の如く發表された

新京鐵道事務所事務員　龜井象次
鐵嶺驛助役同　荒川進
四平街助役同　植村靜榮
鐵路總局勤務を命ず

右の內龜井象次氏は旅客係として旅客事務の改善研究に多大の功績を殘し、今回呼海鐵路總局への榮轉は各方面より惜まれてゐると同時に今後の活動に對し期待をかけられてゐる、なほ氏は事務整理の上近くハルビンへ赴任の筈である

堀內警部補入院

新京總領事館警察署勤務堀內警部補は盲腸炎のため七日滿鐵病院に入院した

獨逸學生の結黨禁止令解く

〔ベルリン五日發國通〕プロシャ法相は政府令を以つて從來法令で禁止された學生の結黨を再び合法的に開始し政權掌握後矢繼早に幾多の法令を發布した國粹社會黨政府法令中で最も典型的な純プロシャ的新法として極めて注目されてゐる

ドエライ景氣
新京の春競馬
總揚高一四三、四〇五圓

一日から華々しく開始された新京の春競馬は連日、好天に惠まれ非常な成績を見せ新京競馬俱樂部に一大記錄をのこした、六日間の總揚高は十四萬三千四百五圓、內勝馬投票券十一萬五千八百十五圓、附加券二萬七千五百九十圓であつた、なほ各日の成績を見ると左の如くである

日	勝馬投票	附加券
第一日	一八、三三九	四、六五六
第二日	二四、六六九	五、四八八
第三日	二三、〇七〇	五、四四〇
第四日	一六、三三三	四、〇八二
第五日	一六、六一一	三、八〇六
第六日	一六、八〇三	五、一一八

百萬兩の女將
千七百餘圓を落す
青くなつて新京署へ

市內富士町二丁目十八番地飲食店百萬兩こと、限チヨカさんは六日午後十一時頃から翌朝午前二時の間に懷にしてゐた千七百三十圓(朝鮮紙幣百圓札十枚同十圓紙幣三枚)を落してゐるを發見し顏色を變へ直に新京署に屆けた

鴨綠江 全く解氷

七日安東驛長より當地新京鐵道事務所への來電によれば六日鴨綠江は全部解氷したので木材需要期を控へ、輸送上[illegible]業者を喜ばせてゐるが奧地の河豆もどしく出るものと見られてゐる

靖國神社へ參拜の遺族に旅客賃金割引

東京に於て行はれる靖國神社春季臨時大祭への參拜遺族に對し四月二十五日より五月一日まで二、三等往復旅客に限り普通運賃の五割引をすることになつた

山東角沖で共同丸支那汽船に衝突

〔靑島六日發國通〕六日午後四時威海衛を出帆した阿波汽船會社の第三十六共同丸は午後六時山東角沖五哩の海上で濃霧を衝いて航行中支那汽船乾利號の船首に强突したが幸沈沒を免れたるも浸水甚だしく船員乘客全部觸記支那汽船が救助船体を曳して威海衛に引返した

東京瓦斯疑獄事件 關係者邸を襲擊

〔東京六日發國通〕六日午前十時から十一時頃迄の間に東京瓦斯會社を始め前東京市高級助役白上佑吉及十時尊、前市會議長大神田軍治、民政黨代議士高橋義次等の各邸宅五ケ所を疾風的に襲擊バツトやステツキで手當り次第に器具硝子戶其他を目茶苦茶に破壞逃走した事件あり警視廳では過般の東京瓦斯疑獄事件に憤慨した右翼團体の計畫的暴行事件と睨み犯人搜査中である

訪日女流飛行家マ夫人蘭貢に向け飛行

〔カルカツタ六日發國通〕五日當地に着いたフランスの訪日女流飛行家マリーズ。イルズ夫人は六日午前六時蘭貢に向け當地を出發した

アクロン號の代りにメイコン號をカ州に送る

〔ワシントン九日發國通〕アクロン號の姉妹船として最近進空式をした巨船メイコン號の處置に關する海軍省當局ではメイコン號は大平洋岸の飛行船根據地サニエールに配屬されるものと結つたが一方海軍長官スワンソン氏はメイコン號の今後は艦隊と共に行動すべきにあり米國の艦隊は全部大平洋に入るのだからアクロン號の惨事があつてもメイコン號をカリフォルニヤに派遣する計畫には何等變更はないと言明した

明大敗る 6―2 對ハワイ朝日戰

〔東京六日發國通〕ハワイ朝日對明大野球戰は六日午後零時四十分よりハワイ朝日先攻で神宮球場に於て擧行されたハワイ朝日の勝利で午後二時十分閉戰、スコア左の通り

朝日	2	0	2	1	1	0	0	0	0	6
明大	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

近藤正吉氏死去

吉長鐵路局機關區員宮城縣仙台市出身近藤正吉氏は二月初日から病氣のため新京滿鐵病院に入院加療中の處七日午前九時遂に死去享年五十四才氏は永く新京に住み殊に滿洲事變以來軍隊の迎送その他に獻身的に働いた人葬儀は八日午後四時曙町長春寺で執行される

これは誰？

さてこれはどこの誰でせう。ちよつと見たところではカフエーのサービス孃のやうでもあり、またショップガールのやうにも見へますでせう

×

然し花街の噂と題する欄內に入れたのでありますから、いづれどこかの姐さんの變裝、イヤ違つた、月一回彼女等の安息日に武裝でなく艶裝を解いたところであります

×

女くらひちよつとした手加減で人相の變るものはないでせうね、花柳通ごつです、この寫眞の主をあててごらんなさい當つたらその認識の深いのに感謝すゝでせう

けふの銀相場

鈔票	金票	九九〇五
大洋	金票	九五九〇
國幣	金票	九六二〇
大洋	鈔票	九七八〇

四月八日 舊三月十四日 土曜 甲辰 佛滅 建 氐宿

●一白の人 迷ひに惱まれ進まんとして鈍り易き日戾と亥、癸が吉
●二黑の人 表面吉に見ゆれども內實は苦みある日なり壬と癸と丑が吉
●三碧の人 人の世話事にて失敗し易き日交際口人注意乙と庚、亥が吉
●四綠の人 輕卒なる言動を避け冷靜に構へて働くべし乙と庚と亥が吉
●五黃の人 物事澁滯がちの日つき惑ひの起り易き日注意丙と壬 癸が吉
●六白の人 從來調はざりし事も追々と順調に運ばる日申、癸と寅が吉
●七赤の人 上を尊び下を憐れむ心掛が第一諸事好都合申と癸と寅が吉
●八白の人 初めは吉くして終りの全からざる注意の日丁と寅、丑が吉
●九紫の人 周圍の事情を能く考へ堅實に進まるれば吉甲と庚と戊が吉

日滿交歡

日本四大商品の紹介

大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價　一箇月　金三十錢　郵稅　一箇月　金八錢
新京永樂町四丁目一番地　發行所　新京日日新聞社
電話三〇〇〇番・三二二五番
發行人　河　十

主なる新築のみで實に六百萬圓を突破
首都新京の土建オンパレート
しのばれる最盛期

解氷期を控へて新京建築界は異常なる活況を呈し、早くも諸建築土木工事入札の本舞臺に入らんとして居り、既に決定せるものは關東軍司令部廳舍九十五萬八千圓を筆頭に三百萬圓を突破、建築着工に決定せる滿洲國々務院、外交部等を合すれば優に六百萬圓を超過する有樣で、建築最盛期における活況がしのばれる、既に決定せる主なる入札を列記すれば

△大使館及び總領事館第一號官舍新築工事　六五、七五〇圓　入札　三田工務所
△同二、三等書記官々舍　七七、〇〇〇圓　入札　三田工務所
△滿電新京支店宿舍　四四、四五〇圓　入札　今井組
△關東軍司令部廳舍　九五八、〇〇〇圓　入札　大林組
（二月二十四日）
△國都建設局石碑嶺輕油敷設工事　七四、五〇〇圓　入札　岡組
△同機關區附屬詰所並に信號所工事　五、一七〇圓　入札　福高組

で指命入札濟のものは滿鐵代用宿舍（南滿興業）約二百萬圓、ヤマトホテル增築三十萬圓等で近く入札することゝに決定せしものは國務院新廳舍二百萬圓、外交部四十萬圓、新京市政公署第二水源地卅二萬圓、市營住宅三十萬圓、新京郵便局增築工事十萬圓、警察宿舍十二萬圓等であるのであり、これらはいづれ日を追つて着々と實現されてゆくことになるであらう

東支鐵道蘇聯新監事　コテネフ氏就任

（ハルビン七日發國通）缺員中であつた東支鐵道ソヴィエート側監事に任命されたオーヤ、コテチフ氏は本日就任した、氏は一八九六年生れ最初は高等師範出の教育家だつたが中途から經濟學を專攻し北部コーカサス鐵道計畫部を經て一九三〇年から東支鐵道監事に任命されるまでウラル國家計畫委員會交通部會議長であつた

熱河省内に事務局を新設
新聞發行その他かずく　協和會の計畫成る

滿洲國協和會では既報の如く近く熱河全省に亘る一大宣撫工作に着手することゝなり、中央事務局では目下これが準備に忙殺されてゐるが、これが前提として同地にも新たに中央事務局を

＝設置＝

することに內定し全省內の統一をはかることゝなつた場所は承德か朝陽か未定であるが新京中央事務局から約二十名の宣撫員が派遣される模樣である、なほ今回の宣撫工作は第一期第二期に分つて行はれ第一期においては宣傳物配布、宣傳板揭示、新聞通信發行、講演會および座談會開催その他覗き、映畫、ラヂオ、蓄音機、巡廻文庫など娛樂機關の施設にも力瘤を入れ、なほ婦人宣傳班を組織して各地に派遣し全省隈なく宣傳されることになつてゐるが更に第二期に入つては協和青少年團組織、體育獎勵、日語學校開設

＝協和＝

週間、同情週間、施療班派遣、孝子節婦表彰その他が行はれるはずでなるかくて全省民を悉く王道政治の恩澤に浴せしめやうといふ

滿洲國政府から勞農側に抗議
李書記生逮捕事件につき　三項の要求を提出

（ハルビン七日發國通）去る三月十九日在ブラゴエシチエンスク滿洲國領事館付李書記生が黑河に向ふ途中、勞農官憲に逮捕された事件につき當地に達した情報によれば華領事は本國政府の訓令に基き勞農側に對し
一、李書記生を抑留した者を嚴罰に處す事
一、右事件に對し勞農官憲は遲滯なく陳謝する事
一、將來かゝる事件を繰返さざる樣保障する事
の三項の要求を提出した

亞細亞民族よ大同團結せよ（二）
趙欣伯

亞細亞民族よ速かに覺醒せよ

抑々人類の幸福とは何ぞと謂はば歸する處は人類各々平等に自由を享けて繁榮を樂むに在る、然るに從來亞細亞民族は如何に歐洲白人種の壓迫を受け來つたか、彼等は世界の九割に及ぶ土地を支配し亞細亞民族の平等を無視し、自由を剝奪し、繁榮を蹂躙して自已の利益のみを謀つた、近世歐洲の經濟的發達は東洋の資源と勞力との搾取より成り立つたものであるから、亞細亞民族が其の拘制强壓より脫するを許さぬ、現在亞細亞に於ける獨立國は日本、滿洲、支那、シャム、アフガニスタン、ペルシャ、トルコ等に過ぎず亞細亞の總面積を一、七二〇萬方哩とすれば、右獨立諸國の面積は合計五一一萬餘方哩であつて、更にイラク及び沙漠地方の諸國の面積合計一〇二萬方哩を加ふるも、六一三萬方哩に過ぎず差引き一、一〇七萬方哩、即ち亞細亞の六割四分餘の土地は、今日も歐洲民族の統治下に屬するのみならず、獨立國中には歐米諸國の勢力に左右さるゝを完全に脫れ得ざる有樣なるものがあるから、亞細亞民族は歐米勢力の下に屈服し其の土地と人民とを供して、歐洲民族の爲に奴隸的活動を强ひらるる悲慘なる狀態であつて、我日滿兩國は此の狀態に對し默視するを得るであらうか、況や我同胞は我等の救拔を切望して鶴首するの有樣ではないか

歐米人は屢屢門戶開放を論ずるが、結局は彼等の欲望を充足する爲に揭げたる反語である、門戶開放の正しき意義は人口に比して餘裕ある土地を有するものは、人口の過多により生存に苦しめるものに對し之を提供すべしと謂ふ事である、然るに歐米諸國は亞細亞の資源を獨占したるのみならず、亞細亞が人口過剩に苦しみ其の捌口を見出さんとするをすら妨げて居る、亞細亞民族の現狀は歐米人の爲に自個の土地に於て民族生存上の一切の發展を拒否された上、進んで食を求むる道をも遮斷せれ自然に滅種を餘儀なくせらるる狀態であるが、亞細亞民族は此の狹隘の裡に在つて民族の自滅をすら忍び得る程寬大若くは無氣力なるを得るのであるか

されば今日歐米諸國を賴らんとする亞細亞民族に盜賊を父と認むるの類であらう、亞細亞民族は今や覺醒すべき重大の時機に臨んで居る

南洋の華僑狀況　朱國際司長語る

（上海七日發國通）外交部國際司長朱鶴翔は昨年十一月出發四ケ月に亘り南洋一帶に於ける華僑の實狀を調査し五日上海に到着したが氏は左の如く語る

自分は命を受けサイゴン、シンガポール、ピナン、シヤム、インド、バタビア等に於ける華僑の實狀を親しく觀察したが何れも世界的不景氣の影響を受けて、總べての事業が不振で、特に英領シンガポール、ピナン一帶に於ける華僑經營のゴム栽培、錫鑛山等一般人の購買力が激減し、錢鈔支那人の失業者二萬と稱せられる、若し現狀が繼續すれば破產者續出するであらう、安南方面は商店の倒產者五割以上に達しヒリツピン等は比較的良好と稱せられてゐるが永住者にして僅に收支を支へ得るにすぎず、印度の華僑約三千は全部靴工で常店を有する者は二三軒にすぎない、ビルマ地方の華僑は米作を業としこれも印度人の壓迫を受けて不振である

英陸戰隊上陸
炭坑利權擁護の爲

（天津七日發國通）四日秦皇島在港の英國軍艦ブリツヂ、オーター號から數十名の陸戰隊が上陸した、右は自國民保護の名目であるが同時に開灤炭坑關係の利權擁護の爲で鐵道線路以南に支那軍が侵入して來れば武裝解除の意氣込みで非常に緊張してゐると

四國協力條約案　獨逸は受諾し難い

（ベルリン六日發國通）ムツソリーニ首相の提唱に係る四國協力條約案に關し英佛兩政府は相次いで覺書を作成して修正を主張してゐるが、右の情勢に鑑み獨逸政府當局は半官的に左の如き聲明を發した

ムツソリーニ首相の四國條約の原案に對して英佛兩國が修正方を强調するためその效果が消滅された結果、右案は最早獨逸にとつて受諾し難きものとなつた

賠償金返還　和蘭は成立

（南京七日發國通）南京政府外交部長羅文幹は四日和蘭公使と團匪賠償金返還問題につき正式交渉の結果、一九二六年一月一日以降の和蘭受取濟の賠償金を支那に返還することの諒解に到達した、返還條件その他は近く發表される筈である

マツク首相に正式の招請狀

（ワシントン六日發國通）ルーズヴエルト大統領は刻下の世界的諸問題を討議の爲英首相マクドナルド氏の訪米を求むることゝなり六日正式に招請狀を發した、確聞する處に依ればル大統領とマクドナルド首相との會談では軍縮問題世界經濟會議準備問題が議せられ更に英國側の要求してゐる戰債改訂問題が討議される豫定である

確固たる國策と實力政權確立
國同大會の申合せ

（東京七日發國通）國民同盟は六日午後二時から丸の內本部に議會後の大會を開催し、山道幹事長より議會報告書起草並に各地方政情の報告あり政務審査方針を協議した結果
一、政務審査部員は現選議員全部とし特に國防と財政に注目する
一、地方に遊說し、逐日全國を遊說し、之は十一月までに完了する
現下の政局に對して左の申合せをなし、午後五時散會した
申合せの內容は今日第一の急務は確固たる國策の樹立である、此非常時に對する方策を建てずして徒らに政權の樂觀に安んじてはならぬ、此際實力ある政權の確立を圖らばねならぬ

東鐵の節約主義　路警費減額

（ハルビン七日發國通）財政難の東支鐵道は從業員を馘首し新規事業を改廢して雜費節約を圖りつつあるが東支鐵道督辦李紹庚氏は大要左の如く語る

ジャライノール炭坑の採炭工作は近く開始する從來東鐵は路警費として四百萬金留を發給して來たが本年は三百萬金留に減額した、即ち
一、鐵道警察費は年百五十萬金留
一、鐵道學校費六十萬金留
一、工業大學費八萬金留
右の外各行政機關に對する發給額は
一、吉黑交涉局百二十萬元
一、特警廳二十六萬元
一、裁判所七十二萬元
一、護路軍司令部十六萬元
一、陸軍病院十二萬元
尙ハルビン市新市街の大部分の土地及建築物は東支鐵道の不動產となつてゐる

議會言明事項　次官會議開く

（東京七日發國通）政府は愈々議會で言明した事項其他の後始末をする必要あるため昨六日午後開いた次官會議で左の諸項に就き協議決定した
一、稅制改正のため議會前に設けられた稅制調査準備委員會の審議を進め稅制改正の調査準備を整へること
一、非常時稅制經濟對策樹立のため大藏省で急速に下調べをなすこと
一、文部省に教育制度調查會を急速に設け院議を尊重し調査を進むること
一、選擧法改正案の審議未了となつた理由に鑑み法制審議會を開いて比例代表制の審議を進むる必要ある爲め七日潮內務次官を選擧法改正特別委員長、水野錬太郎氏に法制審議幹旋方を交涉すること

棉絲布關稅改正

（東京七日發國通）某所へ達した情報によればエジプト政府は棉絲布等の關稅を改正した結果棉絲は重量稅に更に從價稅五割を引上げ棉布は縞、密綾に從價一割二分此の外に藥品、化學品も引上げられた、新稅實施期は四月末である

新京總領事館の異動

在新京帝國總領事館では今回左の如き移動があつた
書記生藏本氏は南京へ轉任その後任に有久直忠氏が着任した、又書記生衞入大吉氏は當地大使館勤務になりその後任に伊藤裕治氏着任した

矢澤中學校長着任挨拶

新京中央學校長矢澤邦彥氏は七日着任挨拶のため本社を來訪した

混保大豆成績

三月中の鐵嶺新京間及吉長吉敦線の混保大豆品質試驗成績は次の通りである

△新京驛願內

等級	數量
特等	一一
一同	八一〇
二同	四八
三同	八六
四同	二
不合格	二四五
合格取消	二七
合計	一、二三九

△吉長吉敦線

等級	數量
特等	一四
一同	一、五三九
二同	二二
三同	二〇
四同	三
不合格	一八五
合格取消	一
合計	一、七八四

人事往來

▲吉村二等獸醫正（陸軍省軍務局）六日午後七時五十分來京
▲高野中佐（步兵第四十聯隊）六日午後十時大連へ
▲佐藤建設局長　七日午前八時來京
▲大井淸一氏（法學博士京都帝大教授）六日夜來京國都ホテルへ
▲染谷保藏氏（盛京時報社長兼本社代表者）八日午前八時來京ヤマトホテルへ

一人一話
先祖
石川千代松

人間は先祖を大切にし、先祖の祭を忘れてはならぬ。然しその祭を大切にすると同時に、我々は誰れでも、先祖から遺傳質を受けてゐることだから、その遺傳質を少しでも惡くすることのないやうに心懸けねばならぬ。寧ろ將來に於て先祖よりも偉い者を出すやうに務めねばならぬ。何よりもそれが大切であると思ふ。さもなければ今日迄の進化もなかつた筈だし、今後の進化もあり得ない事になる。

天氣と溫氣

七日の天氣、西の風曇後晴、七日の氣溫最高九度二最低零度

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　一七片一六分七
同　遠限　一七片一二分一
紐育銀塊　二七仙二分一
孟買銀塊　[illegible]
米英爲替　[illegible]
米日爲替　[illegible]
米支爲替　[illegible]
スチール株　[illegible]
アナンゴダ株　[illegible]

▲綿花
●米綿　現物・三月限・五月限・七月限・十月限・十二月限・一月限　[illegible]
●印綿　ブローチ・ベンゴール・オームラ　今日休會

▲上海票金　作值・高值・安值・本寄・步值　[illegible]
▲上海倫敦向　遠值・買值　[illegible]
▲上海紐育向　遠值・買值　[illegible]
▲上海日本向　第一回・第二回・第三回　[illegible]

▲大連鈔票　現物・近付・寄值・步　[illegible]
▲大連上海向　引出・高值・安值・止　[illegible]
▲大連台灣　[illegible]
▲阪神日英爲替　賣值・買值　[illegible]
▲阪神日米爲替　第一回・第二回・第三回　[illegible]

各地市場

▲大阪株式　株・新東・鐘紡・新紡・大鐘・大大阪・國　[illegible]
▲同短期　新東・新鐘　[illegible]
▲大連株式　品・新豆・五鈔・錢　[illegible]

▲大阪三品　當限・五月限・六月限・七月限・八月限・九月限・先限　[illegible]
▲大阪棉花　當限・先限　[illegible]
▲大阪期米　當限・中限・先限　[illegible]
▲仁川期米　當限・中限・先限　[illegible]
▲橫濱生糸　當限・中限・先限　[illegible]
▲神戶豆粕　現物・當限・先限　[illegible]
▲大連特產
●大豆　袋込・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限　寄／引　[illegible]
●高粱　現物・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限　[illegible]
●豆粕　現物・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限　[illegible]
●豆油　現物・四月限・五月限・六月限・七月限・八月限　[illegible]
▲哈爾賓特產
●大豆　四月限・五月限・六月限　[illegible]
●小麥　四月限・五月限・六月限　[illegible]
▲大連麻袋　現物・八月限・出來高　[illegible]
▲カルカツタ麻袋　筋・筋・替　休會

新京市況

大豆　現物・出來高　[illegible]
小豆　現物・出來高　[illegible]
鈔票對金票　[illegible]
大洋對金票　[illegible]
國幣對金票　[illegible]
大洋對鈔票　[illegible]

初めて生れ出る 新京中學

矢澤新校長に教育方針を聽く

生れ出づ、新京中學校風を一体どんなものに——著任早々の矢澤同校長が今から挨拶廻りに出かけやうとする七日朝、地方事務所內でお目にかゝつたのを幸ひに一寸きいてみる

×××

まづ先生の抱負をといへばいえいえ、抱負なんぞ何んにもありませんよ」と冒頭して大要左の如く語る

新興滿洲國の首都新京にふさはしい校風を作り上げたいといふのは私の心願だ、それは新興にふさはしく進歩的のものでなくてはならない、一方には日本精神を强くきざみつける、他方大きくいへば國際協調、民族協和といつたものに力を入れたいと思ふ吾々は日本人だ、强い日本でなくてはならない、がそれがために外國人との協調を忘れては可けない、殊に新京では滿洲人もゐれば朝鮮人もゐるこれからロシア人もどしどし這入つて來やう、一方には日本精神に生きるとゝもに他方これらの人々とうまく協調してゆく、さういふ人間をぜひ作り上げたいと思ふ、學問を主にした敎育は駄目なものだ、自分は特に訓育に力を致したいと思ふのもそれがためである、それで寄宿舍の如きも非常に重要な役目を持つことになるが會社の方でもこの点は特に留意され金が幾らかゝつてもといつて異れてゐる豫算關係もあり今のところどの程度にするかはつきりせないが自分の考へとしては一舍三十名位の寄宿舍制を取り舍監もその附近に住めるやうに致したいつもりである

更にスポーツについての意見としては

敎練、体操といつたものに力をいれそれ以外に自由な活動をさせたいと思ふ、それがためにはある規定の下に運動の種目についても考へたい、前任地の鞍山では何でも廣く制限なしにやらしたものだが種目は少くした方がよいやうだ、滿洲國人との協調の關係などもあつてア式フートボールの如き最もよしバレーバスケツトなども運動として生徒全体に及び誠に結構なものでそれらはぜひスポーツとして奨勵したいと思ふ

密輸珍話 肛門から金塊飛出る

〔安東發〕本壤府上水口里申氏(四七)は二日同邦鄭氏と共に五關背に向ふとて五日午十一時二十二分着混合列車に乘つてゐるのを列車乘込刑事が、身体檢査をなしたる處、申氏の肛門より金塊が出て來たので、新義州署にて目下取調べ中であるが前記鄭氏も共犯嫌疑濃厚で嚴重に取調べられてゐる

世界一週團 觀光は止め

〔天津六日發國通〕世界一週觀光團は五日秦皇島から出帆する豫定を變更し太沽にレザリユート號を廻航せしめて東京に向つた、北寧鐵路局の談によると支那軍が强硬に秦皇島行きに反對した爲め中止の已むなきに至つたものである

前代議士が 脅喝で取調

〔東京七日發國通〕富士製紙の姉妹會社人絹パルプの重役脅喝で二萬圓を詐取した前代議士北田正平の取調べの結果人絹パルプ會社重役の背任橫領の嫌疑のもとに同社專務で富士製紙の取締役たる塚越卯太郎、人絹パルプ會計監督で富士製紙常務栖原啓藏等を召喚取調中である

野球聯盟で 理事會開く

〔東京七日發國通〕東京野球聯盟では六日午後六時から神宮球場內に理事會を開き本年度審判制度の問題に就き協議し專屬審判員設定の提議もあつたが本シーズンは依然依頼審判を繼續することゝなり各校より適任者一名宛來る十日午後二時迄に聯盟宛推薦し聯盟は之を無條件で承認すること決定した、尙來る十日午後三時半メンバーを交換し各大學部員全員の登錄を行ふ筈である

皇軍のお蔭 住民達感泣

〔ハルビン七日發國通〕東支鐵道東部沿線ダイマグー方面に小部隊匪賊が出沒し列車の運行を妨碍しつゝあるので松下部隊は去る三日以來同地方の匪賊を討伐中であるが地方住民は皇軍の匪賊討伐によりはじめて治安も維持され安住出來ると感泣してゐる

廣東巨頭連 大會に反對

〔廣東七日發國通〕南京政府は去る三月二十九日南京に臨時全國代表大會を召集する旨全國に通牒を發した、がこれに對し廣東にある唐紹儀、胡漢民、陳濟棠、李宗仁、鄒魯等は連名を以て反對を宣言した

永野全權が 歸朝の挨拶

〔東京七日發國通〕六日歸朝した軍縮全權永野中將は七日午前九時廿五分齋藤首相を訪ひ挨拶を述べ同四十分軍令部で伏見軍令部長宮殿下に拜謁歸朝の挨拶を言上更に大角海相を訪ひ同樣挨拶を述した

郵便、小包が激增し手が廻らない 配達增員やら局舍擴築やら新京局が頭痛鉢卷

新京郵便局では最近著しく增加して來た人口につれ、郵便物、小包(稅金附、普通)を輻輳し、その保管並に迅速なる配達方法を寄りより協議して居たが、今迄の配達人數ではとても手が廻らないので近く普通郵便配達人を十二人の所を十六人、小包配達人四人のところを五人とする外、トラツク、馬車も數臺確し一日も早く滯りなく市民の手に渡る樣にする事になつた、尙一日平均、新京市民に五六百の小包が交付されて居るが、なほ保管中の小包は稅金附小包、普通小包台計五千個といふ莫大な數に上り、八十五坪の部屋に保管されて居るか、內地からの輸送激增し、同郵便局に未廻發もの二萬個大連に保管しある始末で、此の處置に困り五月より更に增築、九月までに完成を見右保管個所の外に代金引換、預金受入れ個所も擴張される筈である

重光公使歡迎會

〔東京七日發國通〕齋藤首相は七日正午重光公使を官邸に招待、歡迎午餐會を催し、高橋藏相、荒木陸相、鳩山文相を除く各閣僚、瀧、有田兩外務次官、谷亞細亞局長、堀切翰長、黑崎法制局長官、藤沼警視總監等も參列、首相の歡迎挨拶に對し重光公使は鄭重なる謝辭を述べ、盛談裡に午後一時半散會した

天覽馬術競技 來月に行はれる

〔東京七日發國通〕天皇陛下には馬術御奬勵の思召により來る五月二十四日宮城內馬場において陸軍の馬術競技を天覽あらせられる旨仰出でられた、天覽馬術は各年行はせられて來たが本年は昨年オリンピツク大會において西中尉が優勝して馬術日本の譽れを世界に輝やかした後の事とて一層意義ある見込みである

長江沿岸を排日運動再燃 成行き警戒さる

〔上海七日發國通〕揚子江沿岸の排日運動は又復再燃して來た、漢口では日清汽船會社の買辦が慘殺され、上海では政治的に日本に關係ある支那人を調査し、ブラツク、リストを作製し居る樣子で、日本人使用の支那人を迫害してゐる、之により惡影響を受けてゐる主なものは、紡績、綿糸布、砂糖等の商品輸出及び日清汽船であるが、今のところは未だ大したことはないが成行きは尠からず警戒を要する

又もや反日 北平で運動

〔北平七日發國通〕昨年リツトン調査團が北平着の時、影を沒してゐた各種の反日標語が又復現れ出した、軍事委員會河北戰地宣傳總隊は五日朝北京城內の各要所々々に種々の反日標語及漫畫を貼出し五人一組となり六組の宣傳隊が反日宣傳を開始した、尙これ等宣傳隊は近日變裝して宣傳運動を行ふと言はれてゐる

商何兩軍の 自滅を圖る

〔天津七日發國通〕海陽鎭の戰鬪に於いて痛烈に擊破された何柱國軍は全く戰鬪能力を失ひ恐怖に驅られて敗走するのみで、秦皇島固守の意思なしと見て、何應欽は蔣介石に再三急電を發して、以て何柱國の北上を懇請し、中央軍の商震軍の後方督戰隊として備へ、何柱國、商震兩軍の後退路を遮り、之を自滅せしめんと企圖してゐる

南京政治會 議決議

〔南京六日發國通〕五日の南京中央政治會議決議事項の主なるもの左の如し

一、國民大會組織法

一、選舉法原則の草案を立法院をして起草せしめる事

一、公私の金錢收支及一切の取引は四月六日より一律に元幣に改め、之に反する者は法律上無效とす、又貨幣鑄造用として輸出する銀類には中央造幣廠の銀塊を除き一律に百分ノ二、二五の稅金を徵す

一、中央銀行理事兼總裁宋子文の辭職を許し孔祥熙を同職に任ず

故障の架空線で危い!南廣場 異樣ないなゝきを最後に馬忽ち感電斃死す

七日午前十一時頃山東省生れ城內西三頭街七十七番地客馬車夫張田龍(四〇)が空車を城內から新京驛に向け日本橋通を通行中、南廣場に差懸つた際滿電、百ボルト架設線(第二種線)一本が切れ路上に下つてゐるを知らず馬が觸れると同時に異樣ないなゝきを殘し一度は飛立つたが、その場に打倒れ斃死した、屆出により新京署から齋藤保安主任が現場に急行檢視を遂げた、電線は故障のため且つ今朝來の降雨のため自然的に切れたものと判明した

本年度の特別閱檢 宮中で軍事參議官會議

〔東京七日發國通〕大元帥陛下には七日午前十一時宮中に軍事參議官會議を召集され、本年度陸軍特別檢閱に關し御諮詢遊ばされることゝなつた同會議には閑院參謀長宮殿下が議長となられ梨本宮殿下以下參議官列席し討議され、閑院宮殿下には陛下に上奏御裁可を得、檢閱時期は五月中旬より六月中旬迄とし第一特命檢閱使は軍事參議官渡邊大將で實檢部隊は第五師團管下各部隊で、第二特命檢閱使は敎育總監兼軍事參議官林大將で實檢部隊は第十六師團管下部隊となる模樣である

滿鮮人揃つて東北震災に義捐金 協和會では感激

調化に於ける日滿鮮人ら官吏商人から各學校生徒に至るまで東北地方の震災に同情の余り、一個人十錢以上の義捐金を募り、總額二百五十一圓を同地協會辦事處に屆け出た、同會では近く震災地に向け發送することになつたが同地方面は舊政權時代の壓迫から目下極度に疲弊してゐるも久しい軍閥時代の苦みから同僚相あはれむ心情から今回の擧に出たものであらうと云はれてゐる

名譽の功勞者

長き邊りより、滿洲事變に際し、民間に於て功勞の有つた者への、御下賜煙草は、七日午前十一時から安東署講堂に於て、傳達されるが、安東署管內の名譽ある民間功勞者は五十一名である

凧揚げ大會

〔安東發〕安東始めての催物凧揚大會は、愈よ七日大道溝運動場に於て擧行されるが、既に申込濟の組は、當日の覇者たらんと連日猛練習をし春空に凧を浮かし、當日の盛會を想はして居り、締切日は七日午前迄だから未だ申込の組もあると見られ、六日午後一時から各代表者の會合を、地方事務所會議室に於いて開催の打合せをなした

常奴の雲隱れ はて何處へ行つた 樓主が驚いて捜査願ひ

新京市外寛城子頭道街二十番地料亭九州樓こと近藤ユキ方抱へ藝妓常奴ことと橋本ムメ(二九)は五日午後一時ごろ主人とともに市內に來た際、所用があると主人と別れたがそれ以來歸宅せず行方を晦ました七日樓主は狼狽し捜査願を新京總領事館警察署に願出た

首相宛の訴狀

〔東京七日發國通〕六日午後二時頃左指を繃帶せる一青年が東京麴町永田町の獨逸大使館前を通行中これを檢束取調べの結果齋藤總理宛に時局に關し細々と書いた半紙四十枚の訴狀を所持してゐたので嚴重取調べの結果右は茨城縣東茨城生れ小泉彥太郎(二二)と判明した、同人は元愛鄕塾生で手の傷は報恩感謝を徹底するため傷付けたと稱してゐるが背後には何か深い事情がないかと同人を留置して引續き取調べ中である

安東から 密輸入取締連絡會議

密輸入者及び密行者取締連絡會議は三日午後一時より午後三時半迄安東憲兵分隊に於て直接取締機關たる憲兵分隊、日本側警察署、新義州稅關安東出張所、國境警察隊、水上警察局、海邊警察隊、緝私局、安東市警察署、安東縣地方警察署、安東稅關監督署等の各主任者會合し、各機關が、自己の職權範圍區域等說明すると共に現在に於ける密輸入狀況を議題として協議されたが要するに各機關共連絡を取り圓滑に目的を遂行し、滿洲國發展に努力する事として散會した

小山隊長の作歌 レコード吹込み 雄辯會講談社から近く全國へ普及

聯盟脫退を前にして新京憲兵隊長小山中佐は在滿騎兵が反滿軍と惡戰苦鬪を續け奮鬪してゐる實想に滿洲國の王道を織込んだ意義深い名歌を作つた、歌は忽ちの內廣く世人の口により滿洲はもとより遠く內地の新聞雜誌に掲載され津々浦々に迄傳はり賞賛されてた、これを知つた大日本雄辯會講談社キングレコード部では同名歌をレコードに吹込むべく伏島周次郎氏の名によつて隊長に諒解を求て來たかくて近くレコードにおさまつて全國に普及されるが歌は無來のまゝとし曲は管絃樂伴奏で新鮮味を現すものである

掛軸を橫領し行方晦した外交員 とうとう發見さる

大連市沙河口元町九十六番地永松表具店方外交員福岡縣生れ高橋正助(二七)は去月二十八日ごろ、同店の掛軸二本時價二百圓を橫領し行方を晦ました、大連署の手配により犯人が新京三笠町三丁目二十番地表具師大宮謙吾方に潛伏してゐるを七日新京署員が發見逮捕した

慰問金を贈る

市內三笠町三丁目十九番地波田猪平氏は夫人の死亡香典返しとして金三十圓を在滿騎兵の慰問金に寄附として七日新京署に屆けた

少年に同情 本社に委託金

七日附本社朝刊に報道された母には死別れて遙々滿洲へ來た今石童丸、滋賀縣生れ、大井俊一(一四)の哀れな身の上にいたく同情し、金お菓子代にでもといふて二圓を本社に屆けた奇篤な、人があつた、調査の末その人は朝日通川口印刷所中村主任と判明した、本社では直に右金子を新京署に屆け少年に手渡した

競馬クラブ招宴

新京競馬俱樂部では六日午後八時から料亭「曙」に關係者多數を招待し春競馬終了慰勞宴を張つた

今頃の青島から 軍用犬賣込みの犬泥が橫行 エロで釣り出す新手に畜犬界大恐慌

〔青島發〕青島の在留邦人間では昔からシエパアード犬の飼育が盛んで事變以來軍用犬軸國の實績を擧げてよりるが最近犬泥棒の橫行で大恐慌を來してゐる

□…濟南に 於ては中央の補助の下に立派な軍用犬訓練所があり、訓練された犬は上海方面に送られてゐるのでシエパアード犬なれば何時でも買上げて異れる、良い犬で二百元、悪い犬で五十元と言ふから犬泥商賣も相當なものであるところが牛肉で手なづけてゐたのでは一ケ月もかゝる必要は發明の母との金言は泥棒道にも當嵌まると見へ俊敏無比のシエパアード犬が

□……土偶の樣に俊はれるのだ、狼犬にエロ戰術……謎の樣な話だが色仕掛にかゝるとシエパアード犬もカラ意氣地が無い、戀の相手を提供されると矣々諾々と着いて行く、發情期到來するや牡牝二匹の野良犬とへあれば白星が彼氏でも彼女であつても美犬局は御手の內ルンペン苦力が一夜にして成金と言ふ魔法が行はれるのである

安奉線で列車妨害 何ら被害なし

六日午前十時二十分頃第二百二列車は安奉線蛤蟆塘、沙河鎭間七キロ四百メートル附近で軌道左側に直徑七寸の石塊を置いてあつたので機關車八百五十動輪の軸脫線、安東現場間救援第七百七十一列車急援に赴き午後四時五十分復舊同九時三分沙河鎭に到着した其他何等の被害なく守備隊警察協力して犯人捜査中

明大選手一行歸朝

〔橫濱七日發國通〕米國に遠征した明大バスケツトボール選手一行は六日午後歸朝したが其戰績はアメリカで四十二戰中十四勝二十八敗であつた

西本主任送迎會

西本願寺前主任南部氏の送別及新任光岡氏の歡迎を兼ね七日夜同寺に於て盛大な送迎會が行はれた、尙南部氏は八日午前九時鳩號にて內地へ歸還の筈

日本の地價平均額 三分四厘騰貴

〔東京七日發國通〕日本內地における最近の地價平均額は四百五十八圓で前年の四百四十三圓に比較し約三分四厘の騰貴を示してゐるがこれが重なる原因は昨年來のインフレー景氣並に農村救濟等とみられ全國中で最も騰貴した地方は京都府二割三分五厘茨城縣二割一分大阪府一割一分九厘で最も低落したのは山梨縣二割二分北海道一割一分八厘である

吉凶禍福

△新京室町二丁目一一水江寛一氏長男和孝、二十八日午後二時出生

△新京和泉町二丁目二一號橫道竹四郎氏三男弘、三十一日午前二時三十分出生

△新京常盤町三丁目十一號秋山炭六氏次女敎子、二十六日午後二時出生

婦人と家庭

脂肪は熱量の素か榮養素か？

重大な疑問起る

「脂肪は、我々のからだにエナジーの源泉となる熱量を與へるもの」とはうたがふべくも、考へかへるべくもないはつきりした事實である、と現在まで長い間思ひこまれてゐました。

【そ】れ故にある學者はもし同じく熱量の素となる野菜果物を十分攝るなら別に脂肪として攝る必要はないと、又ある學者は、脂肪溶解性ヴイタミンを攝つてゐれば脂肪はいらないと、そのやうに考へるのも無理はなかつたでせう、ところが、こゝに一たび米國のエバンス及びブール氏の次のやうな發表からといふもの各國の學者間に非常な注意がひかれはじめました、それは完全に脂肪を除いた

【飼】料（但し脂肪の外は完全食）をもつて白鼠を飼養すると、一種特異の病症を呈して來る、（例へば目、鼻、口の周圍の毛が拔けからだ中に盛にフケが出る、又足、尾がウロコのやうになり、甚だしいのは尾の先がされる）ところがそれに或る脂肪、又は脂肪酸を與へると、たちまちこれらの症状は治る、といふのですこれによるとつまり脂肪は單に熱量を與へる役目以外に榮養上ある

【重】要な役目を持つてゐるにちがひないといふことが知られるわけです、我が國でも、現在理化學研究所に丹下梅子氏が研究中なので、それら榮養としての脂肪の細かい働きについて、學術的なことはやがて間もなく發展されませう

母國見學　高女生旅行記

第五信

稻垣鈴子　波多野滑子

四月一日京都第二日

昨日の強行軍の疲れをいやすために今朝は七時半頃までぐつすりねた朝飯後東京に發送する荷物を取りまとめるのに二階の部屋は亂七八だ。代表の人は十六師團に大島大佐を訪問することになつて先づ十時出發。色々取片付けて十一時に旅舘を出發し電車にて京都御所拜觀に行つた途中立命館大學が堂々と建つておりその隣の三條實美を祭神とする別格官幣社梨木神社に敬禮をして前を通過した。次に愈々京都御所の拜觀だ。京都御苑の周圍は一里四町あつて、その昔はこゝに皇族公卿の邸宅が櫛比してゐたが明治初年二年頃これを改めて園となし清淨にして廣濶な神々しい御苑としたのであると聞き傳へる、御苑の中央の稍西北に御所があり廣さが東西一五〇m南北四〇〇mで塀をもつて四方を圍み、南に建禮門北に朔平門、西に宜秋門東に建春門がある宮殿の配置は大体舊平安京大内裏の古制を則つて造られたものが正殿の紫宸殿を初め清涼殿、宜陽殿常御殿、小御所其他の諸宮殿が建て列ねてある御所内の御建物は凡て安政の御造宮になつたもので規模樣式一に先格天皇寛政年度の御造營に準じたものであると傳へる。

先づ御車寄から御大典の行はれる紫宸殿を拜觀した。玉座の高御座が中央にある。正面南階は十八階あつて、其の眞上紫宸殿の額をかゝげてあり南階を挾んで右近の橘左近の櫻あり。橘は小さな實を結び櫻の蕾は余程ふくらんでゐた右近左近とはその木を献上した右近家左近家の名を付けたものだと説明された。御苑の松は皆枝振りのよい姿の美しいもの許りで此の京都御苑でなくば他では見られないだらう。清涼殿も拜觀し一通りの見物も終つて一同つゝしんで退下した。これより叡山巡りをすることになり、出町柳より乗車滿員でギウギウなのを中にぎんぎんつめて電車は動く。そのまゝ八瀬につく。こゝは皆京都の人の遊びに來るところらしく子供の遊戯場まで設けられ大學生の野球をしに來た人もあつた。皆の憧のケーブルカーに乗るために西塔橋驛まで徒歩で行つた。西塔橋驛より登山ケーブルで比叡山を登る。乗り合せてゐた小父さん達はこの線が切れたらどうしやうかなどとブツブツなことを話し合つてゐる初めてのケーブルカーに皆珍らしく下界の山々の緑したる谷をながめ除々に登る痛快さを感じる。ケーブルカーを下り山の上より八瀬村大原村をながめた。こゝは小さな村で皇室の御用人が住んでゐる所で天皇が御所においでになる時等に御輿をかつぐ方や又有名な大原女も住んでゐるとおつしやつた、珍しい大原女に二、三人山の頂上にて出逢つた、高祖谷驛より空中ケーブルに乗り延暦寺につく空中ケーブルは細い線にぶらさがるのでヒヤヒヤすることの間一体の山は何千年經たるか分らない杉や樅の大本ばかり驛についた時に安心の顔色がうかんだのもまだ田舍ものうぐひす笛を何歳でも鳴らすので初めは本當のかと間違へて耳をそばだつた。そこよりも大きな杉がすくすくと茂つてゐる小道を行く、昨日の雨で道がじめじめとして大變惡い。根本中堂を通り延暦寺を通り、延暦寺の麓で本寺の鐘をきき二時にやつとお晝御飯をいたゞいた。それから急に元氣づいて案内人よりも先に山を下る、登山ケーブルにのり、坂本村につき路傍の物賣りの聲をききながら波止場につき遊覽船に乗り琵琶湖の美しい景色を眺め足をのばしてやつと今迄の疲れをなほした、船は日本一の湖、琵琶湖の青い海面を蹴り唐崎から三井寺下につき海上遊に比良、の雪を望み濱大津で陸り。るそれから電車に乗る。途中踏切りに女の人が赤い旗と青い旗を持つて信號してゐるのも珍らしかつた。それから金剛山を思ひ出す樣なトンネルを通り、五時過ぎ電車の中で良い氣持になつてねゐる連中をゆりおこし京都三條に着き、都踊りを見る豫定であつたが叡山廻りをした、ために思はぬ時間を要したのでこれは取り止め急ぎ夕食を濟まし支度を整へ各自京都驛に集合した、大島大佐及御夫人や御令孃も仲はれわざわざ驛までお見送り下され尚一同に繪葉書等を御惠贈された滿員の列車に辛じて座席を見つけ午後八時懐しい京都を發す（箱根強羅にて）

久々の大歌舞伎

中村雁衛門大一座來る

兼ねて來演の評あつた中村雁治郎直嘱の名優中村雁衛門一座の大歌舞伎劇は内地に於ける開演日程決定の爲めと莫大なる經費の關係上大連より奉天に出で奉劇にて所演、直ちに京城え向ふ筈の所折格待望裡にあつた、久々振りに接する本格的歌舞伎劇の來滿に際し當地への進出を見ざる事は遺憾として劇界有志のほんそうにより採算を度外視して日程を操り合せ十日、十一日の兩日間全く突然に長春座にて開演することに決定された、

全劇團は既に大連、奉天にて大歡迎を受けた文句なしに充實した内容を持つ純粹の歌舞伎劇にて道頓堀にて見る觀を髣髴せしめる由にて出しものも總て成駒屋繼統の各作りを上演、初日藝題としての配列は左の如く當地にして珍らしきものにて歌舞伎無の大口真ふべきに足るものかあり定めし人氣は最高潮に達することゝならん

第一　成駒家十程の内　お夏清十郎　三幕
第二　老後の政岡　一幕
第三　松庄下屋敷　一幕
第四　紙　治

なほ雁衛門は清十郎綱村河庄の場松王紙治作ご衛に扮止その秘藝と舞台に發揮する熱演一座を伴にした眼笑は政岡及孫右衛門に出演その名人振りをますさのこさ

海の外から

□自動式郵便嚢受取機
米國に自動式郵便嚢受取機と謂ふのが出來た。即ち列車が各驛通過の際連結の郵便車から自動的に受取棒が出て驛に吊り下げてある郵便嚢を受取つてゆくのであるが列車が余り停車せぬ小驛などでは之も亦文化的施設であると大喜び

□火も増へた絹糸の需要
米國の一般家庭では電氣の點滅に用ふるスウキッチの引き手紐々絹製に仕替へ出す向きが多くなつた。之で日本の絹糸に又も需要が一つ増したわけ。

□シカゴ大學のモダン梯子
シカゴ大學の建築科では長さ二十八呎の伸縮自在の梯子を使用してゐる。下方の三方に安全張りを附けてゐる丈けで登梯者はトップに在つて見通し撮影監督何んでも出來るさ

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
氷鯛	一三 四七	チヌ鯛	一三〇 二五
連子鯛	三九	アマ鯛	二六 一三
小鯛	五八	マグロ	九〇 三〇
ニベ	一七	ブリ	三三〇
ヒラス	七〇	星カレ	三〇 三九
ヒラメ	二〇 一三	ボラ	一三 二二
コチ	二〇 二〇	キス	四五
ハゲ	二六 二〇	オコゼ	二五
メバル	二〇 九	グチ	二五
タコ	一三 一七	イヒタコ	一七
チクワ	六	ホタテ貝	六四
タゴ	二二	甲イカ	二六 二九
水イカ	三三 四三	イセエビ	七三 八〇
車蝦	三五 四八	コエビ	一〇
カニ	一三 五〇	ハモ	一三 二三
アナゴ	二三	貝柱	二〇 二一
白魚	三九	アワビ	四七 六〇
タツミ	一〇	カマボコ	一七

戀慕黑船往來

映畫劇上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第五十三回

濱千鳥(八)

『櫻井白軒……さいぜんより待うけてをつたぞ』

その聲は刄のやうに鋭く澄んでゐた。

蘆の葉を折敷き、岩を枕に一寢入りしようとした白軒は、つめたい手で首すぢをつかまれたやうにおもはずはね起きた。行き過ぎた若い旅侍が、いつのまにか引返して來たものとおもつた。が、ひよいと顔をあげてみると、すぐ近くの岩角に海を背にして突立つてゐる一人の男。追手だが、若侍ではなく、意外にも箕浦格之進の螢面だつた。

『おう!』

『へゝゝゝ、白軒、驚いたか』

格之進は、尻切袢纏の肩を揺ぶつて哄笑したが、すぐに眞顔になり、白い眼を向けた。

『またしても、邪魔者が立現はれて心外だらう。どうぢや』

『……』

『が、こんどこそは、たゞの邪魔者ではない、箕浦格之進の出現はお主にとつてまさに致命傷ぢやわい』

ぢり〳〵と、一歩づゝ詰め寄つてくる格之進のその白眼は、狼のそれのやうに怪しく光つてゐる。

『おれの舊惡を、こんな北邊の地で、よくも箱館奉行の役人ごときにつげをつたな……』

白軒は、相手を睨みながら、下唇の血の出るほど噛んだ。

『告げたよ。稀代の大悪人を、告げずにおくものか……が、告げた先方は、箱館奉行の下役人ごときではない。その點、お主も本望だらう』

『何者だ、高島よりおれをおふて參つた二人の旅侍は……』

『いや、それは高島へ從いて參れば、しぜん判明する。それをたのしみに素直に縛につけい』

『へゝゝ、吐かしたな格之進。お主ごとき痴れ者の手にかゝる櫻井白軒とおもふか。行手の邪魔ぢや。退けい』

白軒は、相手の胸元めがけて進んだ。

『その強い顔をして、おれを睨まへても、怖れるやうな格之進さまではもうないわ。この箕浦の背後には、俠勇無雙の夏川左京殿や、智慮深謀の磯貝武七郎殿が控へてをられるわ。さア、出來るなら指一本でも觸れてみよ』

あくまでも相手を愚弄しながらも、白軒に詰寄られて、一歩〳〵あとずさりした。

『うぬ!』

白軒はうめいた。が、こんなところで格之進如きを相手に爭つては、かへつておのれを卑めるものだと思つたので、ぢりぢり詰寄つてゐた足をとめ、急に踵を返した。

が、振返つて行手……その虎杖の葉かげに、チラと人影が動いた。

――おや!

白軒が立すくんだも道理、虎杖の葉かげの人影は、まさしく、さきほど鍛冶小屋を襲ふた、年長やせ身の旅侍だつたではないか……

『ウハヽヽ、白軒、どうぢや、のがれるなら、一番のがれて見い』

背後では、格之進のにが〳〵しい嘲笑だつた。

『何に!』

その方を、ふたゝび振かへると、格之進の背後にも、いつのまに現はれたか、海光をいつぱいにあびて、例の若侍の方が、物々しく突立つてゐる。

右手は海――岩礁に浪がくだけ散り、深緑色の海は、大口あいて白軒を一呑みにしやうと待ち構へてゐる。左手は、けづり立つ岩崖。進退まつたくきはまつてしまつた。